

台風に備える

～大切な人を守るための知識と備えを～

毎年国内では台風によって多くの被害が発生しています。特に近年の台風は大きさと強さが増す傾向にあります。今月号では、どうして近年の台風は今までと違うのか、またどのように備えればいいのか特集します。



台風ができるしくみ

台風が生まれる場所は熱帯の海の上です。強い太陽の照りつけにより海水温が上昇することで、大量の水蒸気を含んだ空気が上昇し大きな雲を作ります。雲のまわりでは湿った空気がどんどん集まり発達しながら移動を始めます。

発達しながら移動をしていくコースの途中に日本があります。日本に沢山の雨を降らせた後は、熱帯の海を離れるため力を失っていき、やがて消滅してしまいます。

どうして近年の台風は今までと違うのか

台風の大きさや強さを決定する要素となるのは、発生し日本に近づくまでの海水温です。近年、日本付近の海水温は世界的に見ても急激に高くなっています。このため年々台風が大きく強くなる傾向にあります。

なぜ備えが必要か

平成30年9月、台風24号により日野川は氾濫危険水位を超過し、町内各地に大変な被害をもたらしました。

台風は発生から私たちの生活に影響が出るまでに、比較的早い段階から予測が可能な災害です。気象に関する情報をもとに早い段階から適切な対応を行うことで被害を

台風が接近したときは

- ① 町などから提供される避難に関する情報に注意し、危険なところにいる人は警戒レベル3または警戒レベル4で安全なところに避難する。(詳しくは広報にちなん令和3年7月号13ページをご覧ください) また、避難に関する情報が出ていない場合でも危険を感じたら避難する。在宅酸素療法中の方や吸引器をご利用の方など、長時間の停電や断水で生活に支障がある場合も通電、通水しているところに避難する。
- ② 増水したときに川や用水路の見回りは絶対にしない。
- ③ 強風時に屋外に出ると強風による飛来物があり危険。避難も雨や風が強くなる前に行く。

避難するときに持っていくものって?

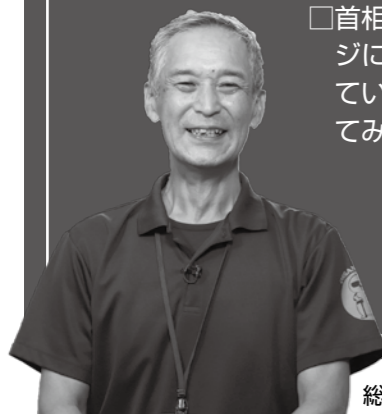
- 必要な物は一人ひとり違いますので、自分が一泊二日でお出かけするとき持っていくものを目安にしてください。
- そのほかに懐中電灯や寒いときに体温調節ができる上着、ありあわせのお菓子やパンがあれば役立ちます。



日頃から備えておくと良いもの

- 水、カセットコンロ、常温で保管できるレトルトやインスタント食品などがあれば停電が長引いても食べられます。

□ 首相官邸のホームページにも詳しく掲載されていますので参考にしてみてください。



総務課 渡邊勝也防災専門員

- ④ 不要不急の外出は控える。
- ⑤ 車での移動で冠水しているところや土砂崩れの恐れのあるところは通行せず、川沿いの道路の通行にも注意する。

気象情報の基準が変わりました

大雨の時に気象台から発表される「土砂災害警戒情報」「大雨警報」「大雨注意報」の発表基準が令和2年から引き上げられています。このため、以前より強い雨が降らないとこれらの情報が発表されませんので注意してください。

台風や避難に関する情報の入手について

防災無線やテレビ、インターネットなど、複数の情報収集手段を用意しましょう。

最小限に抑えることができます。そのためには台風について正しく理解し、危険性を知っておくことが大切です。

台風接近前には準備

- ① ハザードマップを参考に土砂災害や洪水の起こりやすいところを確認する。
- ② 避難するところを確認する。
- ③ 避難に使う道路で崩れやすいところや冠水したら見えにくくなる川、水路がないか確認する。
- ④ 家の周りを点検し、風で飛びそうなものや倒れそうな樹木、流されそうなものに対策をする。
- ⑤ 窓ガラスが割れたとき、家の中に飛散しないようにカーテンを閉める。雨戸があれば閉め、ない場合は壊れそうなガラスに養生テープ等を貼り飛散防止を図る。
- ⑥ 浸水の恐れがあるときは家電製品などの家財を高所に上げる。
- ⑦ 断水に備えて飲料水を確保し、浴槽に水をためてトイレ等の生活用水を確保する。
- ⑧ 停電に備えて懐中電灯を準備し、携帯電話の充電をしておく。電化住宅ではカセットコンロを準備する。
- ⑨ 避難に備えて非常持ち出し品を準備する。



避難のためのQ&A

Q.警戒レベル3以上で全員が避難しなくてはいけないのか。

A.ハザードマップ等を参考にして、危険がないところにいる人は無理に避難所に行かなくても、二階や、山や川から離れた部屋にいてもよい場合があります。ただし、危険を感じたり不安な人は避難してください。

Q.ハザードマップを見ても自分の家の危険がわからない。

A.役場総務課に問い合わせてください。個別に確認できます。

Q.テレビがない避難所で情報を得る方法は。

A.町内の避難所ではラジオが十分受信できないところがありますが、多くの避難所にはWi-Fiが整備されていますのでスマートフォンなどで「らじるらじる」「ラジコ」などのアプリを入れることでインターネットラジオを聴くことができます。

お問い合わせ：総務課 82-1111